

製品名: CD314 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82480**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	25.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CD314
別名	KLRK1; KLR; NKG2D; NKG2-D; D12S2489E
遺伝子 ID	22914.0
SwissProt ID	P26718
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD314 (AA: 追加 73-216) の精製された組み換え断片。

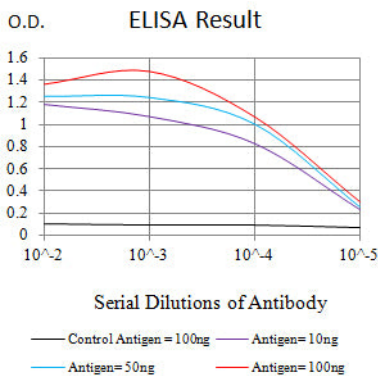
背景

ナチュラルキラー（NK）細胞は、特定の腫瘍細胞やウイルスに感染した細胞を、事前の活性化なしに溶解することができるリンパ球です。また、特定の体液性免疫および細胞性免疫を調節することもできます。NK細胞は、NK細胞機能の調節に関係すると考えられ

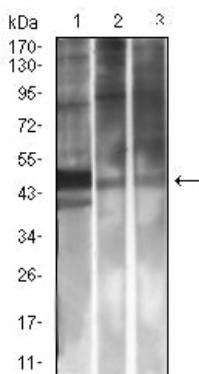
ているいくつかのカルシウム依存性（C型）レクチンを優先的に発現します。NKG2 遺伝子ファミリーは、NK 細胞で優先的に発現するいくつかの C 型レクチン遺伝子を含む領域である NK 複合体内にあります。この遺伝子は、NKG2 ファミリーのメンバーをコードします。コードされている膜貫通タンパク質は、タイプ II 膜配向（細胞外 C 末端を持つ）および C 型レクチンドメインの存在によって特徴付けられます。これは、MHC クラス I 鎖関連 A および B タンパク質と UL-16 結合タンパク質を含む多様なリガンドファミリーに結合し、リガンド-受容体相互作用によって NK 細胞と T 細胞が活性化されます。これらのリガンドの表面発現は、免疫系によるストレスを受けた細胞の認識に重要であるため、このタンパク質とそのリガンドは免疫疾患および癌の治療における治療標的となっています。この遺伝子と、同じクラスター内の上流の KLRC4（キラー細胞レクチン様受容体サブファミリー C、メンバー 4）ファミリーメンバーとの間には、リードスルー転写が存在します。

研究分野

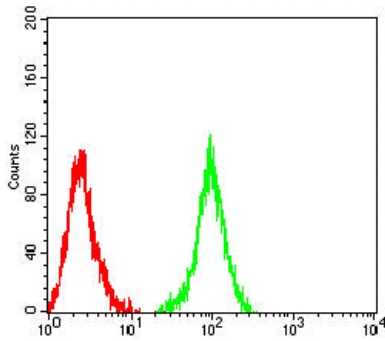
画像データ



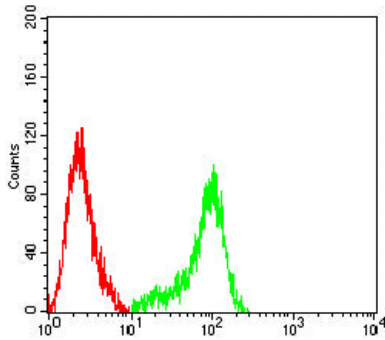
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



CD314 マウス mAb を用いたラット脾臓 (1)、A549 (2)、および HepG2 (3) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット分析。



CD314 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD314 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。